

今すぐ飲みたいオレゴンピノBest7

太平洋岸北西部で成長を続けるブルゴーニュ種

ピノ・ノワールは、1849年のゴールドラッシュ期にカリフォルニアの各地で初めて植えられ、1965年ようやくオレゴン州まで北上しましたが、ドメヌ・ドルーアンが1987年に栽培を開始するまで人気を得ることはありませんでした。現在、ドルーアンはウィラメット・ヴァレーのダンディ・ヒルズAVAに95ヘクタールの壮観なエステートを所有しており、このドメヌが多くのレストランや投資家がこの地域に移住するきっかけとなりました。他のフランス系ワイナリーには、ニコラス・ジェイ（メオ・カミュゼ）、リング・フランカ（コント・ラフォン）、チャプター24（リジェ・ベレル）、レゾナンス（レイ・ジャド）などが挙げられます。

オレゴンにはブルゴーニュの特徴に非常に近いと考えています。これはテロワール、フランスのワインメーカー、使用されるクローン、オークの使い方、気候などによるものと、言われていますが、多くの専門家はオレゴンのピノ・ノワールをブラインドテイスティングする際、ブルゴーニュを連想してしまうことがあります。

そんなオレゴンピノノワールからBEST7をお勧め！

ケン・ライト セラズ ピノノワール シェイ ヴィンヤード 2023

Ken Wright Cellars 2023 Shea Vineyard Pinot Noir
Yamhill-Carlton District Willamette Valley



ケン・ライトは、カリフォルニア大学デービス校でワイン醸造学とブドウ栽培学を学び、カリフォルニアのベンタナ、シャロン、タルボット・ヴィンヤーズで働いた後、1986年にオレゴン州に移住し、パンサー・クリーク・セラズを設立しました。1994年にカールトン市街地に同名のワイナリーを設立し、現在もウィラメット・ヴァレーのヤムヒル・カールトン地区でワイン造りを続けています。彼の単一畑のシェイ・ピノ・ノワールは、細かく挽いた白コショウ、ブラックチェリー、クランベリー、ドライレッドチェリー、ザクロ、みかんの皮の風味、そしてベルベットのようなタンニンが感じられます。余韻は長く続き、後味には心地よい鮮やかな酸味が広がります。



- **Ken Wright Cellars** 2023 Shea Vineyard Pinot Noir Yamhill-Carlton District Willamette Valley
- **Domaine Serene** 2021 Yamhill Cuvee Pinot Noir Yamhill-Carlton District Willamette Valley
- **Lingua Franca** 2022 The Plow Pinot Noir Willamette Valley
- **Nicolas-Jay** 2022 L'Ensemble Pinot Noir Willamette Valley
- **Bergström** 2022 La Spirale Vineyard Pinot Noir Ribbon Ridge Willamette Valley
- **Antiquum Farm** 2022 Juel Pinot Noir Willamette Valley
- **Old Bridge Cellars Chapter 24 Vineyards** 2021 Last Chapter Pinot Noir Willamette Valley